

# プロジェクト名：北海道増毛町地先における鉄鋼スラグ施肥材による海藻藻場造成（日本製鉄株式会社、増毛漁業協同組合）

## ◆プロジェクト概要

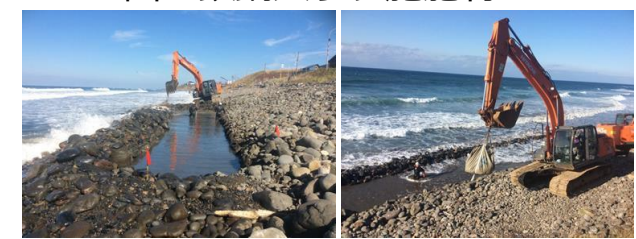
- ・日本製鉄と増毛漁組は共同で日本製鉄社製の鉄鋼スラグ施肥材（ビバリ®ユニット）を2014年から北海道増毛町別苅の海岸線270mに45t、2022年に箸別の海岸線75mに15t、同年に舎熊の海岸線25mに7.5t埋設し、藻場造成に取り組みました。
- ・潜水調査および画像解析を行った結果、取組当初から比較して、海藻藻場（主にホソメコンブ）が、2023年には別苅で3.2ha、箸別で0.5ha、舎熊で2.7ha造成され、3地点の合計CO<sub>2</sub>吸収量は12.2t-CO<sub>2</sub>と認証されました。

## ◆プロジェクトの特徴・PRポイント

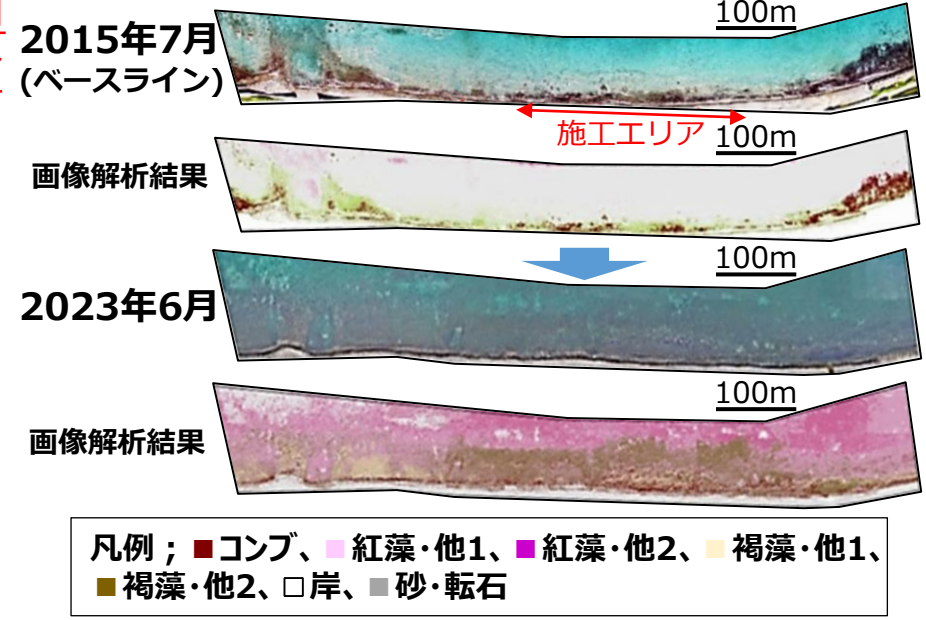
- ・日本製鉄と増毛漁組は協働体制を構築し、藻場の維持・管理、藻場調査を実施してきました。
- ・今後もウニをはじめとした水産生物の漁獲高の向上とブルーカーボンの活性化に向け藻場造成を継続していきます。
- ・また、本活動の認知向上により、全国で藻場造成事例を増やしていきます。



図：鉄鋼スラグ施肥材



図：施工の様子（2014年10月、別苅）



図：別苅における藻場面積の解析結果（色付きの範囲が8年間で拡大している様子が分かります）